

愛友会ニュース

「被団協」新聞
(愛知県版)
No.487
2022.10.6

編集・発行 愛知県原水爆被災者の会(愛友会)
〒462-0841 名古屋市北区黒川本通2-11-1コーポタニグチ201
電話052-325-7901
相談日 : 月・水・金 午後 1時~4時

被爆者は核兵器廃絶を願って病気とたたかっている 被爆77年原爆犠牲者を偲ぶつどいに100人の参加



愛友会は、9月17日、名古屋市公会堂で「被爆77周年原爆犠牲者を偲ぶつどい」を開催し、被爆者、遺族、平和団体の代表、行政担当者ら100名が参加しました。

県内の被爆者は、1538人(2022年3月末厚労省発表)、2021年度に108人亡くなりました。

開会のあいさつに立った金本弘・愛友会理事長は、「高齢になった被爆者は、核兵器廃絶を願って病気とたたかっている。生きている事そのものが、世界の平和を願う人々に勇気と力強さをあたえている」と呼びかけました。

参加者全員が黙とうと献花を行い、愛知県知事、名古屋市長のあいさつ(それぞれ代理)と、愛労連、コープあいち、愛知県平和委員会の代表がそれぞれ、平和への思いを込めたあいさつをしました。壇上には、平和行進を通じて寄せられたたくさんの折り鶴が飾られ、また、亡くなられた被爆者の方々の遺影がプロジェクターで逐次、写されました。

青年による「平和の誓い」として、名古屋経済大学市邨高校3年生の浅野有咲さんが、ウクライナ難民支援の活動を紹介しながら平和への思いを語りました。

遺族を代表して、長崎の被爆者遺族・金子サヨ子さんが、あいさつしました。

慰霊式典の後、文化行事として、「親と子のみどりの合唱団」・「愛知子どもの幸せと平和を願う合唱団」・「愛知教職員合唱団きぼう」のみなさんによる合唱が行われました。

また、会場の一隅には、広島市の基町高校の生徒が被爆者の体験を聞き取り描いた「原爆の絵」が飾られ、多くの参加者が見入っていました。

メッセージをお寄せいただいた方々

ありがとうございました。(敬称略)

日本被爆者団体協議会、長崎原爆被災者協議会、三重県原爆被災者の会、神奈川県原爆被災者の会、愛知県高等学校教職員組合、浅海嘉夫、愛知県知事、愛知県議会議員、名古屋市長、名古屋市会議長、津島市議会議員、豊山町長、一宮市長、一宮市議会議員、大府市長、豊明市議会議員、豊橋市長、岡崎市長、西尾市長

偲ぶつどい協賛金、募金にご協力をいただき、

ありがとうございました。

(敬称略 9/1~9/30)

- ▼丹波真理(あま市)▼光成仁志(尾張旭市)▼遠藤幸子(名東区)▼水野秋恵(春日井市)▼大久保テル子(瑞穂区)
- ▼佐竹康行(津島市)▼山川福美(港区)▼黒田かおり(岩倉市)▼荒木孝子(天白区)▼花市(千種区)
- ▼コープあいち▼愛知県平和委員会

名古屋経済大学市邨高等学校3年

浅野有咲さんによる平和の誓い

戦後77年となった今年は戦争の悲惨さを再認識する年になったと感じます。ウクライナ侵攻によって多くの人が苦しみ、戦争の恐ろしさを感じました。そのような中で、今一度戦争について考え直すため、私は夏休み中に原爆絵画展を訪れました。そこでは、広島の高中生達が被爆者の証言を元に描いた絵や原爆が落とされた当時の資料などが展示されており、どれも目を覆いたくなるような恐ろしさでした。しかし、その時見た絵や資料の内容は現在の世界にも繋がる場所があると感じました。

私は難民支援や貧困支援を通して、世界の現状について学んでいます。難民支援では、中東の国にて女性難民の経済自立支援をしている方と協力しチャリティー支援を実施したり、ウクライナ避難民に対する募金を行ったりしました。貧困支援ではカンボジア農村部の小学校へ手洗い場を設置したり、マスクを届けたりしました。これらの人道支援を通して戦争の悲惨さや、戦争がもたらす代償など多くのことを学び、考えました。そして、私が学んだこれらのことは、原爆絵画展で見た光景と繋がります。絵画展で見た絵のなかの一つに崩壊した建物の下敷きになり身動きが取れない人の様子を描いた絵がありました。現在ウクライナでも多くの建物が破壊され、それにより多くの人が被害を受けています。人間が人間を傷つけ合う姿は非常に心苦しいですが、かつての日本でも同じようなことが起きていたと思うとこの争いを他人事のように感じませんでした。そして、ウクライナ侵攻により、一層平和について考えるようになりました。

平和について考えることは簡単なようで、とても難しいことだと感じています。私自身も、人道支援を通して、平和について考えてきました。私は、一人一人が地球で生きる同じ人間として感じ、助け合い、命の重さを理解することで、平和への第一歩が踏み出せるのではないかと考えています。私たち若者世代は戦争というものを肌で体感したことはありません。しかし、今後はそういった世代が日本を支えていくと考えると、若い世代が戦争について世界を知り、考えていくことが必要だと思います。最後になりますが、この間亡くなられた被爆者の皆さまに心より哀悼の言葉を申し上げます。そして今後、過ちを繰り返さないためにも、学校の授業だけではなく、自ら戦争について調べたりする自発的な行動を心がけ、平和について考え続けていくことをここに誓います。

核兵器禁止条約に新たに7か国(新規署名・批准)

9月22日、核兵器禁止条約に、新たに5か国が署名し、2か国が批准しました。新たに署名したのはバルバドス、ブルキナファソ、赤道ギニア、ハイチ、シエラレオネ、批准したのはコンゴ(旧ザイール)、ドミニカ共和国です。これで署名国は

91か国、批准国は68か国となりました。国連総会が開かれているニューヨークの国連本部内では、7か国の代表が参加して署名・批准の式典が開かれました。

1945年にアメリカが広島と長崎に投下した原子爆弾の原料となったウランは、当時ベルギー領だったコンゴにある鉱山で採掘されました。核兵器禁止条約の批准書を寄託したコンゴの科学研究・技術革新相は「コンゴは世界全体でウランが戦争ではなく平和目的に使われることを願っている。」と語ったと報道されました。



批准書が寄託される国連での様子

55年めの「県内被爆者行脚」が始まります

2022年度被爆者行脚日程

日	曜	自治体名／訪問時刻	移動とお昼休憩	自治体名／訪問時刻	
10/25	火	刈谷市 → 東浦町 9:30 → 11:00	→	高浜市 → 碧南市 13:30 → 14:45	
10/26	水	知立市 → みよし市 9:30 → 11:00	→	豊田市 → 岡崎市 13:30 → 15:00	
10/27	木	春日井市 → 豊山町 9:15 → 10:45	→	小牧市 → 犬山市 13:00 → 14:30	
10/28	金	扶桑町 → 大口町 9:30 → 11:00	→	江南市 → 岩倉市 13:30 → 14:45	
10/31	月	蒲郡市 → 幸田町 9:00 → 11:00	→	西尾市 → 安城市 13:30 → 15:00	
11/1	火	大府市 → 豊明市 9:30 → 11:00	→	→ 東郷町 14:45	
11/2	水	田原市 → 豊橋市 9:40 → 11:20	→	豊川市 → 新城市 13:30 → 15:00	
11/4	金	→ 設楽町 11:00	→	豊根村 → 東栄町 13:20 → 15:00	
11/7	月	あま市 → 大治町 10:00 → 11:10	→	津島市 → 愛西市 13:30 → 15:00	
11/8	火	東海市 → 知多市 9:30 → 11:00	→	阿久比町 → 半田市 13:30 → 14:45	
11/9	水	常滑市 → 武豊町 9:30 → 11:00	→	美浜町 → 南知多町 13:45 → 15:15	
11/10	木	→ 名古屋市 14:00			
11/10	木	瀬戸市 → 尾張旭市 9:30 → 11:00	→	長久手市 13:15	
11/11	金	蟹江町 → 弥富市 9:30 → 11:00	→	飛島村 13:30	
11/14	月	海北陸ブロック被爆者相談事業講習会(三重)で役員がそちらに出席するため日程は入れない			
11/16	水	一宮市 → 稲沢市 9:30 → 11:00	→	清須市 → 北名古屋市 13:30 → 14:45	
11/17	木			愛知県 13:30	
		日進市			

非核平和行政の推進と被爆者支援政策の充実をもとめて県内の自治体を訪問する「県内被爆者行脚」は、今年で55年目となります。10月25日～11月17日までの日程で、愛知県下の全ての自治体を訪問し、懇談します。要請の趣意書と要請文を事前に愛友会から自治体首長と自治体議会に送り、懇談の中で回答を求めます。

訪問に際しては、参加した被爆者から自らの被爆体験を自治体首長や職員、議員などに聞いてもらいます。今年は、愛友会二世部会が作成した被爆体験集「原爆忘れまじ」復刻版を各自治体に贈呈し、図書館などに置き、若い世代に被爆体験の継承するのに活かしてもらえるように要請します。



昨年の被爆者行脚の様子(大口町)

10月のおもな予定

- 4日 ~5日 全国都道府県代表者会議
- 6日 中央行動支援ネット事務局会議
- 7日 新聞発送
- 12日 愛友会理事会
- 15日 支援ネット学習会
- 19日 語り部:金本 日進西高校
- 25日 ~11/17 県内被爆者行脚
- 25日 語り部:金本 長久手高校